

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	健康づくり・未病改善事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	町民の健康づくり・未病改善及び医療費の削減のため。			
事業概要	町民の健康づくり・未病改善のため、健康相談、保健指導等を実施。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	03	大事業 0001 健康づくり・未病改善事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	12,322		1,056		13,208
	概算人件費	5,277		8,323		8,323
	トータルコスト	17,599		9,379		21,531
	国庫/県支出金	542		35		297
	その他	10,484		0		12,315
R 2 概算人件費	正規職員			0.52 人		2,135 千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			2.3 人		6,188 千円
	その他			人		千円
	合計					8,323 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 未病センター利用者数（一日平均）（人）	-	5.3	2.09	5.7	6
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
 ・未病センターの認知度は上がってきており、リピーターが増えている。ただし、令和2年度はコロナ禍に於いての利用制限もあり、利用者は減となっている。
 ・水中運動教室の実施方法の検討（温水プールの施設の継続性）

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	健康診査事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	病気の早期発見・早期治療により健康の維持増進を図る。			
事業概要	病気の早期発見・早期治療につなげることで、町民の健康管理に役立てる。健康の維持・増進に向けた指導を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	03	0002 健康診査事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	15,553		15,062		18,322
	概算人件費	3,692		3,390		3,390
	トータルコスト	19,245		18,452		21,712
	国庫/県支出金	817		1,608		975
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.81人		2,885千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.2人		505千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,390千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 胃がん検診受診率(%)	-	男性1.1% 女性2.3%	男性1.1% 女性2.3%	男性1.5% 女性2.5%	男性3% 女性3%
② 肺がん検診受診率(%)	-	男性5.7% 女性11.1%	男性5.7% 女性11.1%	男性6% 女性11.5%	男性7% 女性12%

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 ・胃がん、子宮頸がん、乳がん検診の受診率の向上に向けて周知に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	予防接種事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	予防接種法に基づき、乳幼児と児童・生徒及び高齢者を対象として予防接種を行うことにより、疾病の予防・蔓延の防止を図る。			
事業概要	予防接種法に基づき、乳幼児と児童・生徒及び高齢者を対象として予防接種を行うことにより、疾病の予防・蔓延の防止を図り住民の健康管理に努める。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	02	大事業 0001 予防接種事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	55,066		79,252		74,510
	概算人件費	1,948		2,708		2,708
	トータルコスト	57,014		81,960		77,218
	国庫/県支出金	238		1,870		2,243
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	1.04人		2,708千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,708千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・随所で予防接種の接種勧奨の通知を送付している。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	特定健診等事業（国保）			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民	目的	40歳から75歳未満の国保加入者を対象に、生活習慣病の早期発見及び早期改善を実施し、医療費の削減を図る。			
事業概要	40歳から75歳未満の国保加入者を対象に、生活習慣病の早期発見及び早期改善を実施し、医療費の削減を図る。					

事業予算						
会計	02	款項目	05	01	01	0001 特定健診等事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	23,097		20,322		27,294
	概算人件費	8,363		8,810		8,810
	トータルコスト	31,460		29,132		36,104
	国庫/県支出金	7,680		14,914		9,007
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.84人		3,195千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	4.4人		5,615千円		
	その他	人		千円		
	合計			8,810千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 特定健康診査実施率(%)	-	37.8	32.4	41.0	42.0
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・受診期間が令和2年度より従来の4か月から5か月に期間を延長した。
- ・受診率は、県下でも高い状況である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	健康診査事業（後期）			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	後期高齢者医療制度被保険者に対し健康診査を実施により、健康管理の促進と高騰する医療費の削減を図る。			
事業概要	後期高齢者医療制度被保険者に対し健康診査を実施することによって、健康管理の促進と高騰する医療費の削減を図る。					

事業予算						
会計	03	款項目	03	01	01	0001 健康診査事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
						R4事業費
直接事業費		24,430		25,259		29,448
概算人件費		1,340		1,208		1,208
トータルコスト		25,770		26,467		30,656
国庫/県支出金		0		0		0
その他		21,903		27,484		29,448
R2概算人件費	正規職員	0.33人		1,208千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,208千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 後期健康診査実施率（%）	-	43.2	40.2	45.0	46.0
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	・介護予防との一体事業の進め方				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	自殺予防推進事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	誰も自殺に迫込まれることのない町を目指し、一人ひとりが命の大切さについて理解し、誰も自殺に迫込まれることのない町を目指す。			
事業概要	大切な命を守るために1人ひとりができごとについて考えてもらうため、講座等を通じて自殺対策に関する普及啓発を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	03	大事業 0003 自殺予防推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	70		0		92
	概算人件費	799		559		559
	トータルコスト	869		559		651
	国庫/県支出金	41		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.12人		559千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			559千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 誰も自殺に迫込まれることのない二宮町を目指す		数字に表せられず	数字に表せられず	数字に表せられず	数字に表せられず
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・担当部署のみならず、全庁的な連携が必要

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	保健センター管理運営経費 ※			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象		目的	保健センターの維持管理のため。			
事業概要	保健センターの適切な施設運営と管理を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	04	0001 保健センター管理運営経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	4,940		5,264		6,104
	概算人件費	1,691		1,570		1,570
	トータルコスト	6,631		6,834		7,674
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	537		539		563
R2概算人件費	正規職員	0.56人		1,570千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,570千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・施設の老朽化（特に空調設備）の進行具合と、新庁舎の建設の兼ね合い

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	救急医療事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	休日、夜間に受診できる医療を確保するため。			
事業概要	一次救急（休日急患当番医）及び二次救急を実施し、救急医療の充実を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	01	大事業 0003 救急医療事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	13,858		13,598		13,500
	概算人件費	199		199		199
	トータルコスト	14,057		13,797		13,699
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 2 概算人件費	正規職員	0.04 人		199 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			199 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 休日急患当番医数（人）	-	23	23	23	23
② 二次救急病院数（箇所）	-	4	4	4	4

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	地域医療の充実	4.43	2.97
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・かかりつけ医の推奨と小児救急ダイヤルの周知は、機会があるごとに行っている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	保健衛生管理経費			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	医師会等	目的	地域医療行政の円滑な運営を図り、医師会及び歯科医師会と連携を密にするため。			
事業概要	医師会と歯科医師会との連携体制にかかわる経費。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	01	大事業 0002 保健衛生管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	1,892		6,879		2,164
	概算人件費	1,568		2,072		2,072
	トータルコスト	3,460		8,951		4,236
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.46人		2,072千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,072千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域医療の充実	4.43	2.97
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・医師会との連携を密に行っている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	子育て世代包括支援事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●			●	●
事業対象	町民	目的	育児に不安を抱える方などが、気軽に相談できる窓口を設置し不安の解消に努める。			
事業概要	母子の健康保持・増進を図るため、健康診査や育児相談など、育児不安の解消や親子関係の向上を図る。また、妊娠・出産から育児期を通して切れ目のない支援を行うため、子育て世代包括支援センターを設置。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	03	大事業 0001 子育て世代包括支援事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
						R4事業費
	直接事業費	13,598		22,213		14,457
	概算人件費	10,039		9,317		9,317
	トータルコスト	23,637		31,530		23,774
	国庫/県支出金	4,431		678		3,147
	その他	2		0		0
R2概算人件費	正規職員			0.71人		2,543千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			13.93人		6,774千円
	その他			人		千円
	合計					9,317千円

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 母子手帳発行数（冊）	-	133	130	120	120
② 乳幼児全戸訪問事業の訪問率【戦略】（%）	100.0	97.5	51.7	100.0	100.0

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 母子保健の充実	4.29	3.06
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 ・訪問や相談などをきめ細やかにおこなっているが、今後感染症対策等も考慮して行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	育児発達支援事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	子どもの発達支援を行うとともに、保護者や園の先生方とともに支援の仕方を考えていく。			
事業概要	健診や相談で課題があった親子に親子支援教室や育児発達支援教室を実施し、療育的な支援を行う。また、保育園や幼稚園従事者への支援も行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	03	0002 育児・発達支援事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	900		611		1,016
	概算人件費	4,150		3,936		3,936
	トータルコスト	5,050		4,547		4,952
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.43人		1,508千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	3.08人		2,428千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,936千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 育児について困ったとき、気軽に相談できる人や場がある保護者の割合【戦略】（%）	93.7	93.7	91.8	95.7	96.7
② 児童相談員の相談受付回数【戦略】（回）	423	423	335	473	500

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 母子保健の充実	4.29	3.06
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 ・発達支援教室や相談のニーズが年々高まっているが、実施方法等についても考慮する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	子ども・子育て支援給付経費			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	民間保育所等	目的	民間保育所の運営支援のため。			
事業概要	児童福祉の向上を図るため、民間保育所の運営に係る経費を給付する					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	05	大事業 0001 子ども・子育て支援給付経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
				R4事業費		
	直接事業費	433,051	521,110	573,367		
	概算人件費	4,275	5,438	5,438		
	トータルコスト	437,326	526,548	578,805		0
	国庫/県支出金	256,684	352,712	365,777		
	その他	59,979	40,518	46,383		
R2概算人件費	正規職員		1.29人	5,438千円		
	再任用職員		人	千円		
	会計年度任用職員		人	千円		
	その他		人	千円		
	合計			5,438千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	待機児童数(翌年4月1日現在)【戦略】(人)	1	2	0	0	0
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・法令等に基づき、着実に給付事業を実施することができた。今後、私立幼稚園の新制度への移行に伴い、業務量及び経費が増加する可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	百合が丘保育園運営事務経費			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象		目的	町立百合が丘保育園の運営支援のため。			
事業概要	町立百合が丘保育園を運営するための経費					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	04	大事業
						0001 百合が丘保育園運営事務経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	
			R 4 事業費			
		直接事業費	11,405	10,700	10,673	
		概算人件費	85,422	51,161	51,161	
		トータルコスト	96,827	61,861	61,834	
		国庫/県支出金	0	959	0	
		その他	6,386	6,934	10,612	
R 2 概算人件費		正規職員	8.33 人		32,066 千円	
		再任用職員	人		千円	
		会計年度任用職員	12 人		19,095 千円	
		その他	人		千円	
		合計			51,161 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 ・町内民間保育所の入所者数の状況も考慮しながら柔軟に入所受入れを行うことで、町内の保育需要の安定化につなげることができた。今後の公立保育園の在り方を検討していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	百合が丘保育園維持管理経費 ※			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	目的 町立百合が丘保育園の維持管理のため。					
事業概要	町立百合が丘保育園の維持管理のための経費					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	04	大事業 0002 百合が丘保育園維持管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	5,539		4,231		4,160
	概算人件費	1,333		364		364
	トータルコスト	6,872		4,595		4,524
	国庫/県支出金	0		738		0
	その他	0		0		0
R 2 概算人件費	正規職員	0.08 人		364 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			364 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 ・園舎は耐震補強を実施済みであるが、築50年を経過していることから、より一層の予防的保全に努めていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	私立幼稚園教育推進事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●	●	●	●
事業対象	町民、私立幼稚園	目的	私立幼稚園の運営支援のため。			
事業概要	私立幼稚園に就園する3歳から5歳の保護者の経済的負担を軽減するために保育料の一部を補助する。また、私立幼稚園に対して園経営の一部を助成し、幼児教育の振興を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	06	大事業 0001 私立幼稚園教育推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
				R4事業費		
	直接事業費	25,403		2,156		2,731
	概算人件費	1,449		1,682		1,682
	トータルコスト	26,852		3,838		4,413
	国庫/県支出金	5,879		270		906
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.4人		1,682千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,682千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等

令和元年10月より開始となった教育・保育の無償化により、子育て世帯の経済的負担が軽減された。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	病後児保育事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	保護者が安心して働くことができるように支援するため。			
事業概要	病気の回復期にある児童が、集団保育及び家庭での保育が困難な場合において、適切な施設で一時的に保育を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	01	大事業 0006 病後児保育事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	973		1,020		1,076
	概算人件費	129		100		100
	トータルコスト	1,102		1,120		1,176
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.02人		100千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			100千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 病後児保育登録者数(人)	-	19	12	15	15
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

重要度 (X-axis): 3.30, 3.50, 3.70, 3.90, 4.10, 4.30, 4.50

満足度 (Y-axis): 2.40, 2.60, 2.80, 3.00, 3.20, 3.40, 3.60

四象限: 維持分野 (top-left), 重点維持分野 (top-right), 改善分野 (bottom-left), 重点改善分野 (bottom-right)

データ点 1: (4.30, 2.83)

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
・登録者の絶対数は多くはないものの、万一の際の保育の受け皿として有効活用されており、保護者の安心感につながっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	小児医療費助成事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●		●	
事業対象	町民	目的	小児に係る医療費の一部を助成することにより、小児の健全な育成を支援し、もって小児の福祉の増進を図ることを目的とする。			
事業概要	小児にかかる医療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を行い小児の健康の増進を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	01	0002 小児医療費助成事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
				R4事業費		
	直接事業費	67,856		52,142		70,152
	概算人件費	1,160		2,391		2,391
	トータルコスト	69,016		54,533		72,543
	国庫/県支出金	13,822		8,503		14,458
	その他	0		94		1
R2概算人件費	正規職員			0.5人		2,391千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			人		千円
	その他			人		千円
	合計					2,391千円

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 小児医療証発行数（枚）	-	2,623	2,584	2,336	2,186
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2 子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 ・本助成により経済的な心配をすることなく医療を受けることができるため、子どもたちの健康の維持増進につながっている。子育て支援策の拡充の面から所得制限については検討が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	児童手当支給事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	家庭における生活の安定に寄与するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的としている。			
事業概要	中学生までの児童を養育している者に、児童の健全な育成と家庭における生活の安定を図るために手当を支給する。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	05	大事業 0002 児童手当支給事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	337,623		330,829		344,902
	概算人件費	1,450		1,449		1,449
	トータルコスト	339,073		332,278		346,351
	国庫/県支出金	285,342		279,937		292,107
	その他	60		50		1
R 2 概算人件費	正規職員	0.5 人		1,449 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,449 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 児童手当受給者（延人数）	-	32,370	31,651	31,000	30,500
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2 子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・法令に基づき、順調に支給事業を実施することができた。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、郵送による受付を実施した。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	児童虐待防止対策事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民、関係機関	目的	児童虐待の防止に努める。			
事業概要	要保護児童地域対策協議会を開催し、児童虐待の防止及び関係機関との調整を図る。					

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	01	0007 一般経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込	R4事業費
	直接事業費	134		0		0	
	概算人件費	6,172		6,016		6,016	
	トータルコスト	6,306		6,016		6,016	0
	国庫/県支出金	1,579		1,599		4	
	その他	0		0		0	
R2概算人件費	正規職員	0.81人		2,885千円			/
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	1人		3,131千円			
	その他	人		千円			
	合計			6,016千円			

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 児童相談件数（件）	-	1,500	1,330	1,500	1,500
② 代表者会議、実務者会議回数（回）	-	5	2	5	5

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2	子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	□	□	■	□

・長期間継続的に係る相談ケースが増加しており、対象者との関係を築くため関わる年数が長くなる専門職的な知識が必要となってくる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	ひとり親世帯関係経費			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	
事業対象	町民	目的	ひとり親家庭の自立及び生活の安定を図るため。			
事業概要	ひとり親家庭の自立、生活の安定の一助として医療費を助成するとともに、これらの家庭において緊急一時ヘルパーを必要とする場合、助成する。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	01	0001 ひとり親世帯関係経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
	直接事業費	14,449		16,039		15,825
	概算人件費	516		797		797
	トータルコスト	14,965		16,836		16,622
	国庫/県支出金	6,493		4,884		7,385
	その他	0		0		1
R2概算人件費	正規職員			0.17人		797千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			人		千円
	その他			人		千円
	合計					797千円

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① ひとり親医療証発行数（枚）	-	166	140	170	170
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2	子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・就労面で制約が出やすいひとり親世帯への経済的な支援として有効な事業である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	子育てサロン及び一時預かり運営事業 ※			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供を行う。また家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児に預かる。			
事業概要	子育て支援の充実を図るため、子育てサロン及び一時預かりを社会福祉法人に委託し、運営の安定化を図る。					

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	02	大事業	0001 子育てサロン及び一時預かり運営事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込	
		R4事業費					
	直接事業費	24,628		22,965		23,509	
	概算人件費	721		737		737	
	トータルコスト	25,349		23,702		24,246	
	国庫/県支出金	13,016		15,830		16,240	
	その他	705		421		617	
R2概算人件費	正規職員	0.15人		737千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			737千円			

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 子育てサロン利用者数（人）	-	10,466	6,351	10,000	10,000
② 一時預かり利用者数（人）	-	224	289	240	240

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2 子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館や人数制限等の制約を受けたが、対策を行いながら事業を実施することができた。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	子育て支援対策事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民	目的	子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の把握などを行っていく。			
事業概要	子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画を策定する。また、子育て支援に関する事業を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	01	大事業 0005 子育て支援対策事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	10,326	6,172	5,847		
	概算人件費	3,875	1,612	1,612		
	トータルコスト	14,201	7,784	7,459	0	
	国庫/県支出金	1,332	1,963	1,332		
	その他	0	0	0		
R2概算人件費	正規職員	0.31人		1,612千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,612千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 0～64歳までの人口構成割合【戦略】（%）	67.3	67.3	68.3	70.3	71.0
② ファミサポまかせて会員数（人）	-	62	65	68	71

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2 子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・ファミリー・サポート・センター事業について、まかせて会員の会員数が伸び悩んでいる。会員養成講座の実施方法等の見直しを行い、会員増を図る。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	学童保育所維持管理経費			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後に適切な遊びや生活の場を与えて、健全育成を図る。			
事業概要	町内3か所の学童保育所の運営を社会福祉法人に委託し、また、民間学童保育所に補助を実施し、学童保育の運営について安定化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	01	大事業 0004 学童保育所維持管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	36,327		60,161		50,902
	概算人件費	2,914		2,427		2,427
	トータルコスト	39,241		62,588		53,329
	国庫/県支出金	20,170		37,511		34,096
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員			0.5人		2,427千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			人		千円
	その他			人		千円
	合計					2,427千円

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 学童保育会員数（人）	-	273	284	317	331
② 児童数に対する学童保育所利用者の割合【戦略】（%）	23.6	23.6	23.7	25.8	27.0

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 学童保育所の充実	4.14	2.99
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・今後数年間にわたり利用希望者が増えると予測されている。民間学童とも連携し、希望者の円滑な受入れに努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			